

## 若い力で職場の牽引を



三好市内の事業所に就職した若者を激励する新規学卒者歓迎式が、4月20日に池田総合体育館で行われました。三好市と三好市商工会、阿波池田商工会議所などが主催したもので、市内の9業者23人が対象、17人が出席しました。

俵市長から「職場で認められる社会人になってください」と激励の言葉をもらい、就職者も「与えられた仕事に全力を尽くします」と決意を述べました。式の後には、ビジネスマナーの研修会も行われ、接遇対応を学びました。

## 新緑の祖谷溪を満喫



新緑の祖谷溪谷沿いで4月19日、癒しの健康ECOウォークがあり、県内外のウォーキング愛好家や親子連れなど、約500人が参加しました。

コースは、祖谷街道の約18キロ。参加者は、環境美化も兼ねてコース沿いに捨てられた空き缶やペットボトルなどのごみを拾いながら、鮮やかな新緑の木々や眼下を流れる祖谷川の景色のなか、さわやかな汗を流しました。ゴール後は大歩危祖谷温泉郷の温泉に入り、ウォーキングの疲れを癒やしました。

## 恒例の箬蔵寺春の大祭



4月12日、箬蔵寺で春季大祭が行われました。境内の桜はちょうど満開の時期を迎えており、護摩殿前を出発した18人の僧侶は、花びらが舞う中、ほら貝などの音色に合わせて、声明を唱えながら本殿に向けて厳かに練り歩きました。

本殿では大般若奉養が行われ、僧侶が読経をはじめると、多くの参拝客が無病息災や家内安全などを祈願しました。この後、本殿横の広場では日用品などが当たる福もち投げも行われ、大変賑わいました。

# まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、  
どんなことでもいいので耳より  
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課  
☎0883-72-7646

## 高原に春を運ぶ野焼き

高原に春を運ぶ恒例の野焼きが4月5日、標高1,043メートルの塩塚高原で行われ、山頂で着火式が行われた後、午後6時過ぎに高原に火が入れられました。天候の不順で1日延期された今年の野焼きは、前日の雨のためか、炎の帯はいつもよりゆっくりと広がりましたが、地元のほたる会といちよう会のメンバーらが約3時間半かけて、約20ヘクタールを焼きつくしました。

バチバチと音を立てるオレンジの炎は迫力満点で、訪れたたくさんのカメラマンたちが盛んにシャッターを切っていました。



## 消防団に再入団



井川町消防団に機能別消防団が結成され、その辞令交付式が4月28日に井川公民館で行われました。この消防団は、元消防団OBの10名で結成された分団で、徳島県内では初めての試みだそうです。

定年を超え退団したとはいえまだまだお元気な方たちばかりで、減りつつある団員確保につながるとともに、豊富な知識と技術は即戦力として非常に期待されます。市長は「市民を代表して心から感謝します」とお礼を述べました。

## 吉野川で遊ぼう



4月25日・26日、山城町のウエストウエスト周辺において、大歩危リバーフェスティバルが開催されました。イベントでは妖怪パレードや物産市、ラフティング体験などが行われ、たくさんの観光客で賑わいました。

また、ラフティング吉野川杯も同時開催され、三好市に本拠地を置くチーム「リバーフェイス」も参加し、熱戦を繰り広げました。同チームは日本代表にも選ばれており、5月にはボスニア・ヘルツェゴビナで開催される世界大会にも出場します。

## 今年も未知の空間体験



イカワエクスパークのzorb<sup>ゾーブ</sup>が今年も営業を開始しました。大きなビニール製のボールの中に入って斜面を転がるという、ニュージーランド生まれのこのアトラクションは全国でも珍しく、5年目の今年は注目度も益々上がっています。

関西・中四国において唯一の導入で、テレビや雑誌にも多く採り上げられ、全国から多くの来場者があります。今年も早速たくさんのカップルや家族連れが来場し、未知の空間体験を満喫していました。

## 地域が主催する花まつり



第17回花まつりが今年も子安農村公園（井川町旭町）周辺において4月8日に開催されました。これは地元の石光山桜会が毎年開催しているもので、会は公園周辺の清掃活動を行ったり、毎年行っている桜の植樹は100本以上になりました。

会場は吉野川を眼下に見る絶景の場所にあり、参加者は日頃の疲れを癒していました。まつりではお茶席でのお茶や甘茶の振る舞いのほか、句会や写真や絵画などの展示会なども行われました。

## 交通安全啓発の専門家目指し



1か月に1日だけ交通安全に関する教育を受講し、交通安全を啓発する専門家を目指すことを目的とした交通安全大学の入学式が、4月7日に三好警察署で行われました。三好市と東みよし町から12人の入学生があり、式では入学証明書や学校の帽子やベストの交付が行われました。これにより市内の事故が減ることを期待します。

式の後には、池田町佐野の国道において、四国中央警察署と合同で交通安全キャンペーンを行いました。

## 園児らが交通安全呼びかけ



春の交通安全週間の期間中である4月6日に、JR阿波池田駅近くの踏み切りで、池田第一保育所の園児と、地域の安全を守る会の会員の方ら約50人が、踏切事故防止を呼びかけるキャンペーンを行いました。

踏み切りを通るドライバーや通行者らに、園児が「交通安全をお願いします」と声をそろえてお願いするとともに、啓発チラシやティッシュを配布しました。元気いっぱいの園児らに、ドライバーの皆さんも笑顔で応えていました。